

壽徳寺だより

真言宗豊山派 田子山 壽徳寺 寺報

2021年10月号 *web版毎月8日発行

WEB版
10月号



境内の栗

戒名について考える

今月十日より、全三回のオンラインイベントに参加いたします。その名も「**戒名カフェ～わたしの戒名を考える**」

壽徳寺もお世話になつてゐる、安心お寺さがしポータルサイト『まいてら』主催で、登録寺院の僧侶と対話をしながら戒名について考えるオンラインイベントです。

みなさんは、お戒名についてどんなイメージがをお持ちでしようか？いるいらない、高い安い？なぜ必要なのか？など、あまり好意的ではないイメージも多いかもしれません。

私は毎回、お通夜の時にお戒名のお話をさせていただきますが、お戒名はこの世での生き様、履歴書、遺されたものにとつての故人を忍ぶ拠り所と思っています。

お墓参りに行つた時、会つたこともないご先祖様のお戒名を目にした時、刻まれた文字からご先祖様を想像し、自分と繋がりを感じ、不思議な感覚になつたこともあるのではないでしょうか？

この世で生きた年数よりも長く受け継がれてゆくお戒名。改めてお戒名について考えるオンラインイベントで、一緒に考えてみませんか？ 詳細は最終ページをご覧ください。

みなさまのご参加お待ちしております。

ごえんびと

連載コーナー「ごえんびと」

壽徳寺にご縁のあるひと(ごえんびと)に
インタビューし、想いを伺いながら
ご縁を深めます。

第八回 株式会社ハウスボートクラブ

村田ますみさん

第八回目は、株式会社ハウスボートクラブ 村
田ますみさんです。

海洋散骨事業とコミュニティカフェ事業をさ
れており、コロナ前、村田さんに海洋散骨につ
てお話を伺った時からのご縁です。コロナ以降、
カフェ主催のオンライン法話会に住職も参加さ
せていただいています。村田さんは、*グリーフ
ケアについて同じ団体で学びを重ねたという繋
がりであります。

二人の共通キーワードでもあるグリーフケア
のお話、福祉のお話など、コロナ状況下であつた
からこそ深まつた距離感で、想いが重なるインタ
ビューとなりました。どうぞご覧ください

海洋散骨とは

海洋散骨は「祭祀の目的をもつて、故人の火葬したあと
の焼骨を海洋上に散布すること」をいい（一般社団法人日
本海洋散骨協会のガイドラインより）、自分の死後は自然
に還りたい、大好きだった海に眠りたい、といった故人の
意志や、様々な事情でお墓に入れないと、お墓を持てないと
いう悩みをお持ちの方に最適な葬送方法とされていま
す。海洋散骨の方法として、「船舶でおこなう方法」と「ヘ
リコプターやセスナ機で沖合いまで飛び、空から撒く方
法」があります。



海洋散骨の様子



村田ますみさん

(ブルーオーシャンセレモニー HPより)

カフェを開くきっかけを

お聞かせください

散骨で携わった方が気軽に立ち寄れる場所を
つくりたいと思ったのがきっかけです。
学生時代カフェでバイトしていたこともあり、昔
からの憧れもありました。終活カフェとしてさま
ざまなイベントも開催してきましたが、終活を「ブ
ーム」から「文化」にしたいという想いがありま

社名である、ハウスボートクラブは起業時に購
入した船の船体に書いてあつた名前です。
サービス名である「ブルーオーシャン」は、海の
青と、ブルーオーシャン戦略（新しい市場を生み
出すことで、新領域に事業を展開していくという
マーケティング用語）から由来しています。海洋
散骨の認知度も高くはない状況でしたので、海に
関わる事業であり、新たな領域への事業展開とい
う意味を含めて命名いたしました。

今年で創業十五年になります。終活カフェであ
る「ブルーオーシャンカフェ」は開店六年目です。

——ブルーオーシャンという名前は
どのような由来からでしょうか？

——起業されて何年になられますか？

オープン当時は怪しまれてましたね。変な宗教ではないかとか、契約書にサインされるのではないか?とか(笑)。五年経ちコミュニティサロンとして地域の方々にも少しづつ浸透してきたところで、コロナによって一変。現在カフェは休業しています。

——どんなきっかけで起業されたのでしょうか?

今の会社を起業する直前は花関連の仕事をしていました。生花をインターネットで仕入れる会社です。もともとはIT業界において、起業するのも今回で二回目です。一度目は、学生時代にIT関連の会社を仲間と立ち上げました。ちなみに今でもその会社はあるんですよ。

ハウスポートクラブを起業するきっかけは母を亡くしたことです。闘病中の母は、「お墓に入りたくない、沖縄の海に散骨してほしい」という言葉を私に残していました。母の希望どおり沖縄の海へ散骨し、それから数年後、縁あって船を購入し起業することになります。

人の死によって、人生や価値観がガラッと変わった方が多いと思いますが、私も母の死は大きな転機になりました。起業時に心に決めたことは「散骨」をライフワークにしようということです。様々ながらみとの葛藤や、将来への不安、大切な人を失った喪失感など、悩みを抱える人々の手助けになるのなら、快く残りの人生を捧げよう。それ

が母の遺志を受け継ぐことになるのかもしれない。このことは今でも変わらず想い続けています。

——グリーフケアの学びいかかでしょうか?

グリーフケアを学ぶことは、自分に向き合うことでもあります。人のグリーフに接する前に自分のグリーフを認識することからはじまり、自分のグリーフに向き合うのは結構きつかったですね。グリーフケアを学びはじめて十年以上経ちますが、やればやるほどわからないですし、難しいですね。



——グリーフケアを学ぶきっかけもお母様とのことがあつたのでしょうか?

はい、社会福祉士の資格取得の勉強中です。昨年四月に専門の学校へ入学し、来年二月の国家試験に向けて勉強中です。

——なぜ社会福祉士の資格取得を?

散骨希望のご遺族とは、亡くなつた後からの付き合いがほとんどです。お骨になつた方がどんな生活をされて、ご家族との関係はどうだったのか、どんな最期を迎えたのか、わかりません。起業して十五年目になりますが、やればやるほど、生前にご縁をつなぎたいという想いが強くなつてきました。生前からお付き合いするによつて、もつとよいお見送りができるのではないか?そんな想いから学びたいと思いました。

カフェオープン時から介護従事者とも繋がってきたんですね。交流会なども開催してきました。ですが、その中で話している言葉がわからず主催者でありながらアウエイ感が強かったです。名刺に書かれている肩書の職種がわからない。話している専門用語、言葉がわからない。福祉について知りたい、学びたいという想いはずっとあります。福祉関係の資格もたくさんありますが、社会福祉士は大学卒業と専門の学校に行って必要単位と実習を受けることで受験資格が得られるということもあり、今回勉強しています。

――社会福祉士の勉強はいかがですか？

社会福祉士の勉強は幅広いです。自分では高齢者向けの福祉の勉強と思っていましたが、子ども、貧困、障がい者、更生など多岐にわたります。レポート課題もたくさんありますし、想像した以上に大変です(笑)ですが、本当にいい勉強になつています。基礎実習では地域包括支援センターで、展開実習では特別養護老人ホームへ実習に行かせていただき、本当に勉強になりました。

一緒に学ぶ仲間と出会えることも大きな宝です。定年退職後に学んでいる方、脱サラして学んでいる方や、いろんな職種や経験を重ねてきた方と繋がれるのは嬉しいですね。そこは学生時代の勉強とは違うと思いますし、良さでもあるなと思います。

――今までの経験や学びとつながることもありますか？

そうですね。グリーフケアで学んできたことに繋がるなと思います。

福祉の用語に、「自己覚知　じこかくち」という言葉があります。援助者である自分自身を知るとのこと。自分の価値観や考え方の傾向、自分は何者なのか客観視し、把握することが大切という意味です。

これは実習先でもよく言われました。さまざまな利用者さんと接する中で、自分とは違う価値観と出会うことも少なくありません。嫌悪感を抱く場合もある。ひとりひとりの成育歴が違うので当然ではありますが、自分の価値観で良い悪いの判断、好き嫌いの判断がぶれないと、自己覚知は必要であると。

――コロナ状況の今、環境、心境の変化などいかがでしょうか？

大変革です。散骨の施行数も激減ですし、カフェは休業中でオンラインイベント開催へと切り替わりました。

ですが、社会福祉士の勉強もこのタイミングなのでできています。今まででしたら現場の仕事も忙しく各地へ出張に出てましたので、じっくり勉強する時間も取れませんでした。コロナが落ち着いたら、どんな社会になつているのかわからないですが、原点回帰とアップデートを繰り返すかなと思います。きましたが、これからもご縁を大切にしてゆきたいですね。



このことは、グリーフケアでも学ぶセルフケアでありますよね。人を支えることは、己を知ることだなと改めて感じました。相談を受け、適切なところに繋ぐのが社会福祉士の役目です。面接の方法や心理学の勉強もあり、対面でどのように接して、どう対処するか技術を必要とされます。グリーフケアに重なる部分もたくさんあるなと思いました。

世界の福祉の歴史もイギリスにて、キリスト教からはじまっています。社会福祉士の学びはお坊さんにもオススメですよ。

——これからについてお聞かせください

まだまだ水面下で動いている状態ですが、来年に向けて少し可能性のある動きを予定しています。コロナによって一変し、また新たな船出です。行く先には、霧はかかるかも知れませんし、嵐や大きな波がくるかも知れません。ですが、少しずつでも前に進んでゆきたいなと思っています。

——ありがとうございました

これからもよろしくお願ひします

*インタビュー・文 松村妙仁

*二〇二一年九月二十日

オンラインにてインタビュー

村田さんとリアルにお会いしたのは初対面の一度だけ。それ以降はオンラインのみやりとりですが、毎月のようにじっくりとお話しながらご縁が深まっています。起業時のお話など今回初めて伺う内容でまたさらに距離が近づいたように感じます。

ご縁が深まるきっかけの【ブルーオーシャン法話カフェ】次回は十月二十四日(日)です。生と死とグリーフについて、法話と対話のオンラインイベント。今回は、セルフケアについて。インタビュー内でも、「人を支えることは、己を知ること」というキーワードが出てきましたが、後回しになりがちなセルフケアについて、一緒に考えてみませんか?

ご参加お待ちしております。

＊インタビュー・文 松村妙仁

＊二〇二一年九月二十日

オンラインにてインタビュー

「グリーフ」は大切な人、ものなどを失うことによって生じる、その人なりの自然な反応、状態、プロセスのことです。どんな感情も反応もおかしなものではありません。怒りも、悲しみも、時に安堵さえも失ったときに感じるのは自然なものであります。あなたの感じる「まさに」大切に感じてみるとことからはじめてみませんか。グリーフはそこから乗り越えるものとか立ち直るものではなく、抱きながら歩むものとして見られるとすこし楽になるかもしれません。

(一般社団法人 リゾナンスHPより)



株式会社ハウスポートクラブ
ホームページ
<http://hbclub.co.jp/company>



村田ますみさん プロフィール

株式会社ハウスポートクラブ 代表取締役社長CEO

一般社団法人日本海洋散骨協会 初代理事長

一九七三年東京生まれ。同志社大学法学部政治学科卒業。

IT業界等を経て、二〇〇七年株式会社ハウスポートクラブを設立。海洋散骨等のメモリアル事業を展開。二〇一五年国内初の終活コミュニティカフェ「ブルーオーシャンカフェ」をオープン。

一般社団法人グリーフサポート研究所認定 グリーフサポート・バディ、フューネラルセレブランント。

上智大学グリーフケア研究所 グリーフケア人材養成講座に四年在籍。

著書
「お墓に入りたくない! 散骨という選択」*朝日新聞出版

「海へ還る! 海洋散骨の手引き」*啓文社書房

壽徳寺 今後の行事予定

日付	時間	行事名	料金 定員	予約	内容
10/16 (土)	14:00～ 15:30	手ぶらで 写経写仏	¥1000 各10名	必要	心を整える修行である写経、写仏。 静かな本堂で自分の心を見つめませんか？写経と写仏どちらも選べます。
10/17 (日)	15:30～ 16:30	おてらヨガ (昼の部)	¥1000 各10名	必要	大好評のおてらヨガ 少人数制で感染症対策をしながら開催いたします。初めてでも、おひとりでも安心して受けられるヨガです
	18:30～ 19:30	おてらヨガ (夜の部)			

【オンライン開催】

ブルーオーシャン法話カフェ

生と死、グリーフについてお話、対話のオンラインイベントに住職も参加します。どなたでも、どこからでも参加可能。ご参加お待ちしております

- 日時：2021年10月24日（日）20:00～21:30
- 開催方法：Zoomによるオンライン開催
 - 参加費：1,000円
 - 詳細・お申込はQRコードから



【オンライン開催】

「戒名カフェ」～わたしの戒名を考える

戒名についてお坊さんと気軽にお話しができるオンラインイベントに住職が参加します。
戒名を考えるきっかけにしませんか？

- 日時：2021年10/10(日)14:00～15:30
2021年10/25(月)14:00～15:30
2021年11/4(木) 20:00～21:30
- 開催方法：Zoomによるオンライン開催
 - 参加費：500円以上のお布施制
 - 詳細・お申込はQRコードから



壽徳寺の最新情報はインターネットで発信しております



壽徳寺ホームページ

<http://jyutokuji.net>



壽徳寺公式LINE、Facebook、インスタグラムなどのSNS

リンク一覧はこちらから

<https://linktr.ee/jyutokuji>

